

## MR08-01 クルーズサマリ

### 1. 航海情報

航海番号：MR08-01

船舶名：「みらい」

航海名称：平成 20 年度「みらい」性能確認試験航海

航海期間：平成 20 年 5 月 8 日（木）～平成 20 年 5 月 22 日（木）； 15 日間

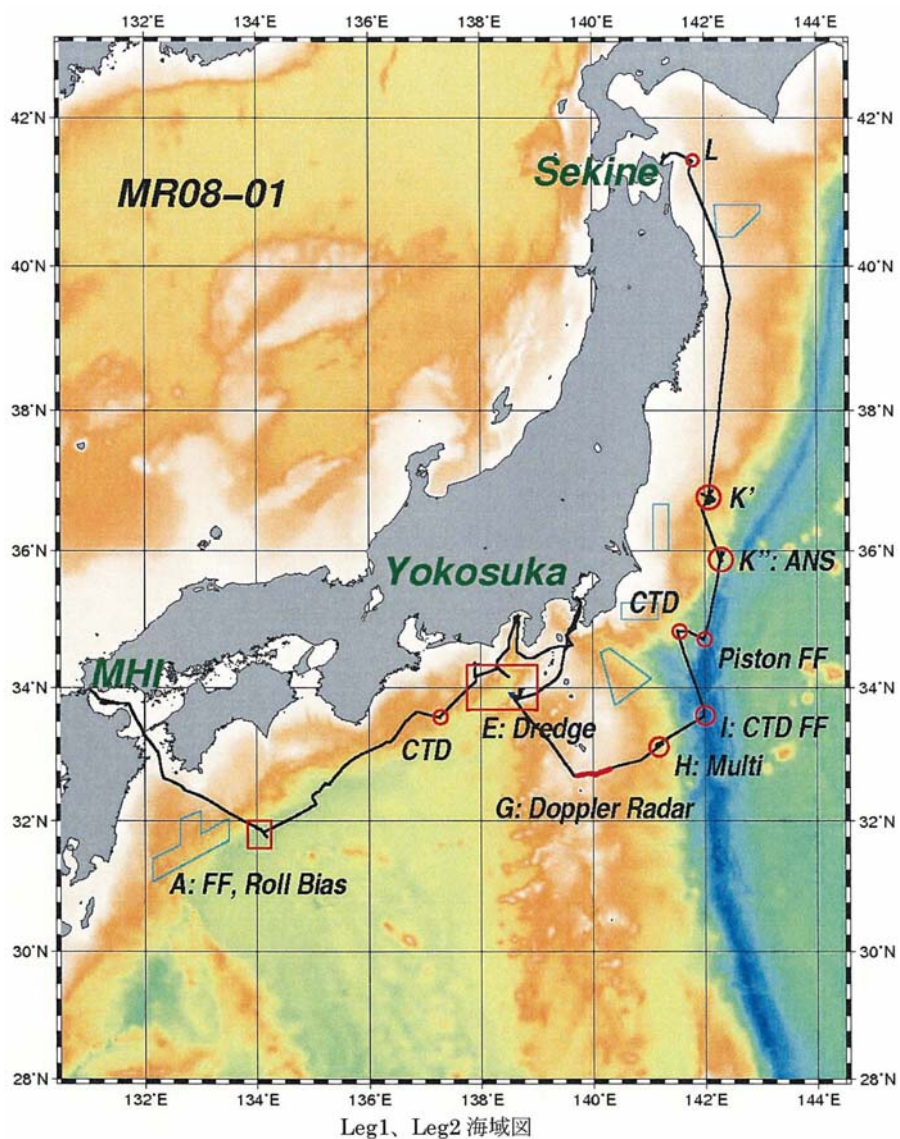
レグ 1： 5 月 8 日（木）～5 月 14 日（水）； MHI 下関造船所～横須賀 4 区

レグ 2： 5 月 14 日（水）～5 月 22 日（木）； 横須賀 4 区～関根浜港

作業主任：レグ 1 前野 克尚（海洋工学センター応用技術部 長期観測技術グループ）

レグ 2 石渡 隼也（海洋工学センター応用技術部 探査技術グループ）

調査海域：



## 2. 目的

平成20年度「みらい」年次検査工事終了後、三菱重工業株式会社（以下、MHI）下関造船所より関根浜への回航中に、搭載観測装置類、新規に導入した装置・機器、並びに定期検査工事期間に保守整備・機能向上等を実施した装置・機器について、調整、性能の確認、および作動確認等の試験を実施する。

## 3. 実施内容

### (1) 観測支援装置実施内容

- ① ジョイスティックコントロールシステムの作動確認および調整
- ② ピストンコアウインチ、スウェルコンペンセータのフリーフォールならびに洋上総合作動確認
- ③ 大型CTD ウインチ、スウェルコンペンセータの洋上総合作動確認および各種制御データ取得
- ④ 係留ケーブル巻き込み装置の作動確認
- ⑤ 小型CTD クレーン・ウインチシステムの洋上総合作動確認、およびフリーフォール

### (2) 船体固定観測装置実施内容

- ① マルチビーム音響測深装置およびサブボトムプロファイラの性能・精度確認、各種補正用基礎データ取得、ドレッジおよび採泥予定海域における事前サーベイ
- ② 船上重力計の連続運用確認、センサドリフトおよび精度検証
- ③ 船上三成分磁力計の連続運用、性能確認、および補正係数算出用データの取得・検証
- ④ プロトン磁力計の性能確認、およびウインチ作動確認
- ⑤ ドップラーレーダの動作・性能試験、並びに連続運用確認
- ⑥ ADCP の作動・性能確認、各種補正值の決定
- ⑦ 音響航法装置の作動・性能確認（試験用トランスポンダ使用）、および各種補正用データの取得・検証
- ⑧ XBT・XCTD 計測試験、および各ランチャ作動確認
- ⑨ 高層気象観測装置の作動・性能確認
- ⑩ 電波航法装置中央処理部切替試験、およびネットワークサーバー切替試験
- ⑪ 衛星データ受信装置のNOAA/HRPT ならびにMTSAT データ受信、および船内CATV/web への配信確認
- ⑫ シーロメータの後方散乱確認および連続運用試験

### (3) 非固定観測装置実施内容

- ① CTD 採水システム（12本掛、24本掛、36本掛）によるCTD 観測および採水試験
- ② CTD 採水システムにより採水した海水試料を用いた、主に色素、基礎生産、栄養塩、炭酸系関係各装置の性能確認

③ ドレッジによる岩石採集、マルチプルコアラー（直上水採水システム付属）による採泥、およびMSCL 等堆積物関連観測装置の性能確認試験

④ 表層海水分析室に設置されている各装置を用いた表層海水の測定試験

(4) その他

①TurboMAP の運用試験

②応用技術部で新たに開発したヒューズリンクの実運用試験

#### 4. 結果

(1) ～ (3) の性能確認・作動確認については、異常がないことを確認した。

(4) の TurboMAP については、沈降速度調整のため錘の重量の調整が必要となったが、航海中に対応出来た。また船上器ソフトに一部不具合があることが判明したため、メーカーに改善を依頼した。

ヒューズリングについては、今後運用していく上で必要となる基礎的なデータを取得することができた。

以上